

社会福祉法人 優心会

小規模多機能型居宅介護かのん サービス評価

【令和3年度】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月23日(16:00~17:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	1人	0人	9人

前回の改善計画	・初期支援の過程で知りたい情報をまとめ、ケアマネが情報収集し職員間で共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者の情報提供を職員へ周知するのがギリギリになることがあった(緊急の受入れ等)が、おおむね計画通りに実行できていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	9	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・初回相談時に現状を詳しく把握できるように努めていた。 ・利用者の基本情報書を職員が事前に回覧できるような状態になっている。また、申し送りや職員会議を通して利用者のニーズ等の情報を共有している。 ・初めてサービスを利用される方に対して、頻繁な声かけや本人を気遣う対応が取れていた。 ・送迎時に本人に変化がないか家族に随時確認している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍で家族とのコミュニケーションや関係づくりが不足していた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用開始後の状態変化は随時更新し、追加情報等を職員間で共有できるようにしていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月23日(16:00~17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	5人	1人	0人	9人

前回の改善計画
・夕方のミーティングで話し合いの場を設けていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・計画どおり夕方のミーティングを取り入れることができた。当日の反省や利用者の変化について話し合うことができるため、今までにない気づきを得ることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	5	3	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	3	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	3	0	9
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	1	0	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の身体機能が低下しないように体操や歩行訓練を行った。
・利用者に自ら身体を動かしていただけるように声掛けを工夫した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者個々の目標理解が不足していた。
・定期的に会議を実施しているが利用者が望む目標まで話が及んでいない。
・利用者個人のペースに合わない時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
各職員がご利用者の目標を把握できるようにケアプランの写しをケースファイルに綴り、職員が確認できる環境を整えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月23日(16:00~17:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	3人	0人	8人

前回の改善計画	・ご本人の以前の暮らし方シートを作成し、新たに知得した情報を関わった職員が記入していくことで情報共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	シートの作成には至らなかったが、支援をする中で生活歴等を聞くことができた。また、申し送りノートを活用し職員間で共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	6	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	8	1	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	5	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	6	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	6	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の気持ちや体調の変化に気づいた時は職員間で共有し対応や対策を検討するようにしている。 ・職員の介護知識向上のため、看護師や主任が中心となり研修を行うなど適切な指導体制が取れた。 ・食事や排せつについては、本人に合わせた介助を行うことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の以前の暮らし方や生活歴など本人の過去に対しての情報把握が不足していた。 ・本人の声にならない声の言語化について、認知症の方の気持ちを汲み取ることが難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員個々が知った生活歴をケースファイルに記録するメモを設置し、全員で情報を記入していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月23日(16:00~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	2人	1人	8人

前回の改善計画	・基本情報の項目内に地域資源の情報を入れていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルスの影響で地域資源の活用が困難な状況があり基本情報に反映できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	4	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	3	2	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	2	3	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	2	5	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の社会資源はできる限り把握しできており活用も心がけた。 ・家族からの話や連絡帳を活用し自宅での様子を把握している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・新型コロナウイルスの影響で地域資源の活用ができていない。 ・独居のご利用者がいるが地域(人・資源)との関りまでは気にならなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
独居世帯に関しては、日頃どんな人が自宅に訪問をしているのかを携わった職員がケース記録に記入することで情報共有を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月23日(16:00~17:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 10

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	0人	0人	8人

前回の改善計画	・朝のミーティングの他に夕方のミーティングを新たに加え情報共有を強化する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・実際に夕方のミーティングを取り入れたことにより今まで以上に情報共有が強化された。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	4	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	6	1	0	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	6	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	6	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には急遽訪問サービスや宿泊に切り替えるなど柔軟な対応が取れた。 ・個別の問題を抱えるケースについては、地域包括支援センターに相談をしながら支援することができた。 ・日々の変化や気づきについては、申し送りや職員会議などを通して報告共有をしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
誰がどんな地域資源を活用しているかがわからなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
朝・夕方のミーティングを継続し情報共有を強化する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月23日(16:00~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	2人	2人	3人	8人

前回の改善計画	・オンライン会議や研修に参加するため通信環境を整えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・オンライン環境を整え、リモート会議なども参加できるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	2	2	3	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	3	4	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	3	6	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	2	7	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域包括支援センターとの共同で、地域中学校向けに認知症サポーター養成講習を行った。 ・担当者会議など必要な情報を書面や電話でのやり取りも含めて情報共有するようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・新型コロナウイルス感染拡大に伴い活動やイベントが開催されなかった。 ・感染予防対策のため館内面会を禁止しており、地域の方が気軽に施設へ訪れる状況ではなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・新型コロナウイルス感染状況の様子をみて、外部機関との連携を図っていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月23日(16:00~17:00)

7. 運営

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	5人	0人	9人

前回の改善計画
・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、会議や地域と関わる機会を設けていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・新型コロナウイルス感染拡大に伴い地域と関わる機会をつくることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	3	3	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	3	2	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	2	0	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	0	4	7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎月の職員会議や個人面談などを通して職員が意見を言える機会をつくれた。
・利用者やその家族から意見があった場合は直ぐにサービスを改善できるように努めている。また、苦情内容は書面に残し、事業所で改善したことを説明している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・新型コロナウイルス感染拡大に伴い地域と協働する機会がなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
施設への苦情があった際は、迅速に対応していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月23日(16:00~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	2人	2人	7人

前回の改善計画	・オンライン研修や会議に参加するため通信環境を整えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・オンライン環境を整え、研修や会議に参加できるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	3	1	0	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	2	2	8
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	6	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	1	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎月職場内研修を実施している。その他にも介護経験2年未満の職員に対しては介護基礎研修を開催し、各自のスキルアップを図った。研修に参加できない職員に対しては資料の回覧で対応した。 ・職場外研修について、新型コロナウイルスの影響で積極参加できなかったが、オンライン開催の研修については可能な範囲で参加することができた。 ・事故報告書の回覧や研修開催等でリスクマネジメントに対しての意識づけを行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・新型コロナウイルス感染拡大前に比べると外部研修への参加が激減した。オンライン開催に移行していない研修もあるので研修の選択に限りがある。 ・今までの研修内容は実際の現場で困る場面に沿った研修が不足していた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
研修内容の希望を確認する。 年間での研修内容を具体的にあげ、参加希望者をつのる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月23日(16:00~17:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	4人	1人	1人	8人

前回の改善計画	・人権やプライバシーに関する研修会を実施し職員に意識づけをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・権利擁護の研修を実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	2	0	0	8
②	虐待は行われていない	5	2	1	0	8
③	プライバシーが守られている	3	5	0	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	0	2	8
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	3	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待についての研修を実施した。 ・成年後見制度を活用する事例はなかったが、今後必要になりそうな方については地域包括支援センターと情報共有しながら対応できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
プライバシーに関しての研修はしておらず、どう行動すべきかを把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
プライバシーの研修を実施する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 優心会	代表者	毛塚 徹	法人・事業所の特徴	当施設は旧粟野町の保健センター跡地で運営をしております。施設周辺には郵便局や交番、学校などの公共機関があり、比較的利便性のよい場所に位置しております。また、河川や山など自然環境に恵まれて、ゆったりと穏やかなサービスを提供している施設です。
事業所名	かのん	管理者	増渕 浩志		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	人	1人	人	10人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員によって自己評価の内容に認識のズレがあったため、事前に確認を行い適正な評価ができるよう努める。	事業所評価の際、集まる場を設け認識のズレを改める事ができた。	新型コロナウイルスの影響で運営推進会議を開催できず、意見の聞き取りが困難だった。	事業所自己評価の際に立てた今後の改善計画を周知徹底し、統一したサービスが提供できるよう努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設内のインターネット通信整備（Wi-Fi）を整え、オンラインでの面会、会議等に対応しやすい環境をつくる。	施設内のインターネット通信整備（Wi-Fi）を整え、オンラインでの研修等に参加する事ができた。	新型コロナウイルスの影響で運営推進会議を開催できず、意見の聞き取りが困難だった。	センサーマット等の用具を設置し事故予防に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の代表者や民生委員と密に情報交換を行い、地域の実情を把握していく。	個別ケースで地域の方と情報交換をしていた。 地域での行事は新型コロナウイルスの影響で中止しており、参加できなかった。	新型コロナウイルスの影響で運営推進会議を開催できず、意見の聞き取りが困難だった。	新型コロナウイルスの感染状況を確認して、地域での行事に参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しながら、リスクが低い場所への外出機会を設けていく。	新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しつつ、行事等で外出する機会を設ける事ができた。	新型コロナウイルスの影響で運営推進会議を開催できず、意見の聞き取りが困難だった。	新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しながら、リスクが低い場所への外出機会を設けていく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	新型コロナウイルスの影響で会議の書面開催が多い為、運営推進委員からの意見を確認する手段を検討していく。	新型コロナウイルスの影響で会議の書面開催が多く、意見を取り入れることが困難だった。	新型コロナウイルスの影響で運営推進会議を開催できず、意見の聞き取りが困難だった。	新型コロナウイルスの影響で会議の書面開催が多い為、運営推進委員からの意見を確認する手段を検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策	水害での被災経験を風化させないように必要な知識の伝達、避難場所の再確認等を随時行っていく。	定期的な避難訓練・消化訓練等の実施ができた。	新型コロナウイルスの影響で運営推進会議を開催できず、意見の聞き取りが困難だった。	水害・火災・地震等様々な災害を想定した避難の仕方を訓練していく。

